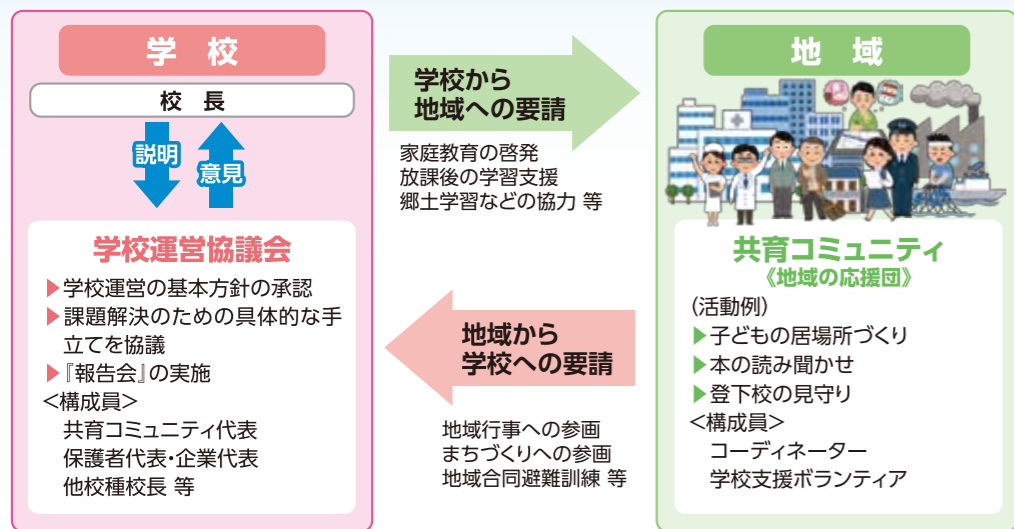


「きのくにコミュニティスクール」の推進

地域とともにある学校づくり



子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。県では、平成29年度から3年間で県内すべての学校に「きのくにコミュニティスクール」を導入し、学校と地域をつなぐ体制を強化していきます。

地域や保護者の方々にはこれまでも様々な学校支援活動に協力いただいています。その地域や保護者からの温かい応援を基盤として、さらに当事者意識をもって学校・家庭・地域が連携・協働することで、子供の成長を支えていきます。



有田市では、平成29年度からの学校運営協議会のスタートに向けて、昨年度末に教育委員会が学校運営協議会規則を定め、各学校において学校運営協議会委員を推薦してもらうなど準備を進めてきました。

今年度、市内全小中学校（初島小・中は合同）において、学校運営協議会がスタートしました。学校と地域との連携・協働により、「地域とともにある学校」をめざして取り組みを進めています。

宮原小学校では、4月27日（木）に第1回学校運営協議会が行われました。まず、学校長から学校教育計画をもとにして教育方針の説明があり、その後、委員の方からいろいろな意見が出されました。宮原小学校の委員の皆さんは、会長をはじめ、とにかく前向きです。学校の良いところはもちろん、課題についても意見を出し合い、活発な協議を行いました。

協議会での意見

- ・子供と子供がつながる授業（協同学習）のメリットは大きい。
- ・生徒指導に対して、教職員が組織として取り組んでいる姿勢が頼もしい。
- ・小中連携した教育の充実を図ってほしい。
- ・学校の取り組みを知らせる「学校だより」を、ぜひカラー印刷にしたい。
- ・地域の人が集まる場として、学校で畑をつくり、みんなで野菜をつくりたい。

協議会後に改善されたこと・改善の方向へ進んでいること

①「学校だより」をカラー印刷に！

今までは白黒だった「学校だより」をカラー印刷で地域に配るために、第1回学校運営協議会後、本協議会会長・副会長・校長で地域の連合自治会長さんのところへすぐに相談に行きました。そして、連合自治会で話し合っただけのことになりました。

学校の取り組みや子供の様子をより地域の方々を知っていただきたいという思いを共有して、改善の方向へ進んでいます。カラーになった「学校だより」の発行が楽しみです。

②みんなで野菜をつくらう！

5月1日。まずは土地調査から。社会福祉協議会の方と地域の方の協力で校内のどこに畑を作ったら良いかを話し合い、さっそく動き出しました。

5月5日。調査した場所を耕うん機で耕してくれました。固かった土地が掘り起こされ、作業がしやすくなりました。このあと、さらに土を耕し、子供たちが草抜きをし、石を除いた後、土を運びます。夏の環境整備作業の時には、畑の枠をコンクリートで固めて土が流れないようにする予定です。

地域の方と一緒に野菜をつくる取り組みに向けて、着々と進んでいきます。



きのくに 教育めぐり

教育長挨拶

今回は 由良町教育委員会



由良町は、「ふるさとに誇りをもち思いやりの心を持てる人づくり」を基本理念として、生涯にわたる教育の中で、幼児から高齢者まですべての人が学べる教育環境の充実に努めています。町内小学校には、明治初期に岩倉具視の欧米使節団に参加し、二階建て馬車を走らせた由良町ゆかりの由良守応（ゆらもりまさ）の肖像画が掛けられています。

平成28年度より認定こども園が教育委員会の所管となり、「由良町教育の振興に関する施策の大綱」を改定し幼児教育の充実に追加しました。町内1中学校区にこども園、3小学校があり、それぞれの特色を生かしながら、「保・小・中」と「学校・家庭・地域」の縦横の連携を大切にした教育の充実に取り組んでいます。

今年度より2年間、文部科学省委託「和歌山県人権教育研究推進事業」の地域指定を受けており、中学生やジュニアリーダーによるフラワーリンク活動・おもてなし活動、一行詩の取り組み等を通して、地域一体となり自尊心の高揚や豊かな人権感覚の育成に努めていきたいと考えています。

由良町教育委員会 教育長 寒川 正美

きのくにコミュニティスクール～衣奈小学校運営協議会～

本町では、これまで共育コミュニティの取り組みを通して、地域の方々による学校支援活動が充実しており、地域の特性を生かした教育活動が進められてきました。昨年度よりきのくにコミュニティスクールの設置に向けた計画を立てるとともに、新年度に入り、PTA総会での保護者への説明や区長さん宅を訪問して協力を依頼するなど準備を進めてきました。こうした経過のもと、5月中旬に衣奈小学校に学校運営協議会を設置する運びとなりました。第1回の学校運営協議会では、学校長が基本的な運営方針を説明し承認を受け、子供たちの学校外の生活の様子など、協議会委員の方々による活発な話し合いが行われました。また、地域共育コーディネーターから少子化や児童減少の中、「子ども未来塾」^(注)が放課後や休日の子供たちの交流の場になっていることが紹介されました。区長さんからは地元特産のワカメの養殖体験とともに、米作りの農業体験も協力していきたいと、学校支援へ積極的に関わる頼もしい意見も出されました。



きのくにコミュニティスクール導入を契機に、地域とともにある学校づくりの推進に努めていきたいと思います。
(注) 地域住民がボランティアで個別指導や自習補助を行う学習支援事業。



学力向上対策～小・中連携教育の取り組み～

各校の学力向上推進プランに基づき、「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を踏まえ、全教員が校内研究授業に取り組み、授業改善・授業力向上に努めています。町内小中学校の教頭、教務主任による小・中連携部会を学期毎に開催して、「聴く力」や「自主学習」の共通課題を確認し取り組みを進めています。2学期には、町教育研究会授業研究集会を開催し、町内教職員が一堂に会し研究授業と研究協議を行い、実践交流を図っています。

保護者や地域への啓発活動として、「学校教育指導の重点」を掲げたチラシを全家庭に配布するとともに、家庭学習のルール（時間や学習内容）や携帯電話・スマートフォンの適切な使用についてのルールを決めたりするように家庭や地域への協力をお願いしています。

スポーツで 地域を元気に！

住民の住民による住民のための「総合型地域スポーツクラブ」をめざして

第14弾 和北総合クラブ

昨年11月に、「生きがいづくり」「青少年の健全育成」「競技力の向上」を理念として設立しました。和歌山北高校や周辺のスポーツ・文化施設を拠点に、レスリング、なぎなた、バスケットボール、剣道、ボウリング等の教室を開催しています。

ジュニアレスリング教室は、高校の部活動とも連携しており、一緒に活動する高校生の活躍が刺激となり子供たちの高い目標設定につながっています。

